

- 2 面 【学会の目・眼・芽】北国のランドスケープ
(公社) 日本造園学会理事、北海道大学大学院農学研究院教授 愛甲 哲也
- 2、3 面 全国造園フェスティバル 2025 開催報告
秋田「Green & Flower Fes in AKITA 2025」
東京「2025 としまエコライフフェア」に出展 ほか
- 4 面 【ふるさと自慢】 東京 23 区内でありながら緑と農に囲まれた町「練馬」
東京都支部 石井 匡志 (アゴラ造園(株))
- 【緑滴】 青春五十路切符 若手県支部 山田 康子 (小岩井農牧(株))



金賞を受賞した門野史奈氏・水野大輝氏ペアの作品

第 63 回技能五輪全国大会が、10 月 18 日から 19 日に愛知県で開催された。42 職種で競技が行われ、全国から約 1,000 名の選手が参加。造園競技には 20 組 40 名が参加し、常滑市・旧常滑高校グラウンドにて実施された。競技や開・閉会式の様子は動画配信された。

本大会は、国内の青年技能者（原則 23 歳以下）を対象に、技能競技を通じ青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、技能の重要性や必要性を広く一般にもアピールし、技能尊重機運に資することを目的として毎年実施している大会で、造園競技は日造協と（一社）日本造園組合連合会が協力し実施している。

造園競技の課題は、3.5m × 2.5m の区画への石積、敷石、小舗石の敷設などの石作業、自由課題として角材と竹材による垣根の工作、中低木の植栽や芝張り等であり、石や樹木に関する深い知識と空間構成のデザインセンス、それらを表

現する施工能力や、10 時間の競技時間内に作庭を完成させなければならない体力など、さまざまな要素が必要とされる。

今回は昨年より 1 カ月早い開催となったため、例年より気温の高いうちに実施できたが、競技前後に何度か通り雨が降り、足元の悪い中での競技となった。

出場した選手は皆、大会に向け放課後や仕事後に重ねた練習の成果を発揮していた。

指定された寸法や高さの確保、出来栄え、工具の取り扱いや安全作業などを総合的に採点した結果、接戦の末、(株)今田作庭園所属の門野史奈氏・水野大輝氏ペアが金賞を受賞した。

休憩時や競技後には、選手同士や指導者間での技術的な意見交換や情報共有も活発に行われていた。将来の造園業界を担う若手の育成にもつながる場である。

この大会を今後も業界として盛り上げていく必要性を感じた。

技術委員会 技能五輪等部会 西村 剛彦



会場の様子



造園・環境緑化産業振興会は、平成 9 年 4 月に「造園・環境緑化」の理念と技術を具体的に産業として展開させ、その再生と隆盛を勝ち取るために結成された組織。

(一社) 日本造園建設業協会、(一社) 日本植木協会、(一社) 日本造園組合連合会、(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会、(一社) 日本公園施設業協会、

(一社) 日本運動施設業協会、今年新たに(一社) 日本水景協会が加わり、計 7 団体となった。

また、11 月 25 日(火)には、都市計画協会において開催した 7 団体の代表者会議に引き続き、片山壮二課長をはじめとする国土交通省都市局公園緑地・景観課の 5 名の幹部の方々にもご参加いただき、意見交換会を開催した。

樹林

(一社) 日本造園建設業協会理事
西武造園(株) 代表取締役社長 小川 巧



「造園」の可能性を次世代へ

社会が大きく転換期を迎える今、自然環境と人々の暮らしを結ぶ造園の役割は、かつてないほど急速に広がっていると思います。

都市の再編や気候変動への対応、生物多様性の回復など、多岐にわたる課題に対し、緑地の価値、緑地が果たす役割は年々増えています。景観づくりだけでなく、防災や教育、賑わいづくりやコミュニティ形成といった社会基盤としての価値も広く認識されつつあり、私たち造園に携わる者はその期待の大きさを強く実感しています。

欧米やアジアの一部地域では、造園はまちづくりの中心的分野として高く位置付けられ、ランドスケープアーキテクトがプロジェクトの初期段階から参画し、地域の自然資源や文化背景を踏まえた計画が進められる事例も多くあります。

それに比べ、日本ではまだ造園の専門性が十分に社会へ届ききっていないと感じる場面があります。

技術や知識のレベルは決して劣っていないにもかかわらず、その価値が可視化されづらいという課題があるのではないのでしょうか。

こうした状況を踏まえ、私たちは、改めて造園が持つ専門性と社会的意義を積極的に発信していく必要があると思っています。

自然環境の管理技術、地域気候に根ざした植栽計画、そして長期にわたる維持管理の知見など、造園ならではの知識の蓄積を社会に伝えることで、より存在感のある産業へと発展させてい

きたいと考えています。

また、なにより、その価値や本質的な魅力を未来世代へとつなぐためにも、より多くの若い人財に知っていただけるような取り組みが欠かせないと思っています。

造園とは、単に空間を創る仕事ではなく、自然と共に時間を育み、人の暮らしに寄り添い、未来へと受け継がれる環境をつくる仕事です。この長い時間軸の価値は造園が得意とする領域で、誇るべき特色でもあります。

自然に向き合う職業でありながら、都市計画、GIS、ICT、デザイン、教育、コミュニティ支援など、幅広い分野と関わることができる点も、造園の大きな魅力です。

若い世代に、社会と自然の間に立ち、地域の未来に関わることでできる魅力ある仕事として伝えていきたいと強く思っております。

そして未来の担い手がより誇りを持ってこの世界に飛び込めるように、デジタル技術の活用、働き方の柔軟化、多様な専門領域との連携など、業界として推進すべきテーマに積極的に取り組むことで、若い世代が「この業界で働きたい」「自分の未来を託したい」と感じられる環境を整備していきたいと考えております。

造園は、自然と人をつなぎ、地域の未来を支える確かな技術と精神があります。その強みを発信し、若い世代と共に新しい「造園」を創造していくため、より一層の努力と挑戦を続けてまいりたいと思います。

緑化等の取り組みに対する支援など、都市公園等関係予算に関して要望

自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会が 11 月 11 日(火)に行われ、日造協からは和田会長が出席。会議では、和田会長より下記の令和 8 年度公園・緑地に関する予算等を要望した。

記

- 一、都市公園等関係予算の確保・拡大
- 二、都市の諸課題に対応した緑化等の取り組みへの支援
- 三、造園工事の品質の確保・向上等



要望について説明する和田会長

秋の叙勲・褒章 益子氏が受章

2025 秋の叙勲・褒章受章者で日造協関係 8 氏が受章の栄に輝いた(11 月号既報)。11 月号で掲載がありましたので掲載いたします。

【旭日双光章】益子英明(72) (株) 大子造園土木(茨城県)



益子 英明 氏

2026 新年造園人の集い

2026 年 1 月 6 日(火)

17:50 より

品川プリンスホテル
(東京都港区高輪 4-10-30 ☎ 03-3440-1111)

第20回

全国造園フェスティバル 2025 開催報告

「全国造園フェスティバル」は、都市公園法施行 50 周年の記念事業として、その前年の 2005 年にスタート。造園の認知度向上や地域との連携強化などを主な目的に 10 月をコア月として全国の日造協会員が中心となりそれぞれの地域の公園や広場でさまざまなイベントを開催してきました。今年は第 20 回を迎えテーマも新たに「人とつながる緑とつながる」として実施しました。本号ではその一部を紹介します。

秋田「Green & Flower Fes in AKITA 2025」

我々は県造協とともに、2022 年より千秋公園内でのイベントを通じて、利用者ニーズの把握や公園利用者の動態調査、地域関係者の想いの収集などを行い、より良い公園利活用の検討を進めてまいりました。

また、協賛金も年々増加するなど、千秋公園への理解や緑産業への期待の表れであると捉えております。

今年度は当初 2 日間の開催予定が土曜日のみとなりましたが、クリスマスリース作りや寄せ植えワークショップは開始早々整理券がなくなるほど好評でした。

また、落ち葉プールや「はたらくのりもの」体験では、多くの子どもたちが楽しそうに参加する姿が見られ、公園の新たな魅力創出にもつながりました。

さらに、「協会の存続意義」が問われる中、本イベントを通じて参加会員からは「今まで当公園を利用した事のない人

の声を直接聞けた」、「創作活動において会員相互の情報共有が出来た」、「業務では管理作業が主であるが作庭に関わり造園の魅力を再認識出来た」などの声が寄せられ、協会運営への理解が深まるとともに、今後の協会のあり方を考える契機にもなっています。

今後も、全国造園フェスティバルの目的履行と共に、新たな造園領域の事業化に結びつく活動となるよう、会員の理解と熱意で進めて参りたいと思います。

秋田県支部 佐々木 創太(むつみ造園土木㈱)

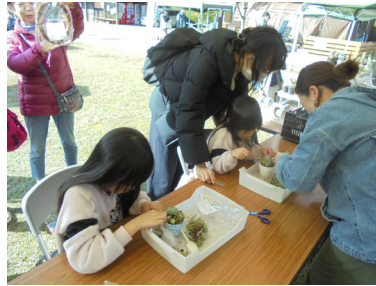


会場の全景（「はたらくのりもの」体験の高所作業車も）

この日のために生まれた日本庭園



子どもたちが楽しめるプログラムも多数準備した
⑥セグウェイ体験
⑦多肉植物の寄せ植え、落ち葉プール遊び



東京「2025 としまエコライフフェア」に出展

2025 年 10 月 5 日(日)、豊島区役所で開催された「としまエコライフフェア(主催：豊島区)」に環境学習のコンテンツを出展し、造園フェスティバルの一環として、一般参加者に向けてアピールしました。

私たちが行った「みつばちクイズ&蜜源植物のカード作り」ワークショップでは、みつばちに関するクイズに挑戦、知られざる「みつばちのヒミツ」に迫ります。さらに、剪定によって廃棄される蜜源植物のドライ素材で、オリジナルカード作りを体験してもらいました。

また、同区役所 10 階「豊島の森」には、かつての豊島区の自然を再現した憩いの空間があり、植物の年間維持管理を行っている当社スタッフが植生など自然のし

くみを語る、植物観察ツアーのガイドを務めました。

「としまエコライフフェア」は、環境にやさしい暮らしについて考え、学ぶイベントです。“みんなでつながろう 地球にも人にもやさしいまちへ”をスローガンに、産官学民の約 20 団体が参加。私たちの展示ブースには、200 名を超える来場があり、花のタネやチラシを配布して、日造協の取組みを PR しました。

参加者からは「みつばちの生態を知ることができてよかった」「いろんな植物に触れて楽しかった」などの声があがりました。クイズやワークショップを通じて、自然と私たちの暮らしの繋がりを楽しく学んでいただく機会になりました。

東京都支部 前杉 昌枝(西武造園㈱)



会場の様子



豊島の森ガイド



カード作り風景



WS クイズ参加風景

学会の目・眼・芽 第 147 回

北国のランドスケープ

(公社)日本造園学会理事、北海道大学大学院農学研究院教授 愛甲 哲也

北海道でも今年の夏は大変暑かったです。札幌や道東の気温が東京と同じか上回っている日もありました。

この原稿を書いている 11 月は、雪虫がとびはじめ、庭木の雪囲いや自動車のタイヤ交換など、本格的な積雪に向けた準備の時期です。

これから本格的な冬を迎え、雪が降り積もり、道路脇には除雪の山ができて、公園は雪置き場としても活用されます。いったん、みどりはお休みのようにも見えますが、北国らしいランドスケープを楽しむ時期でもあります。

◆

12 月には広葉樹が葉をおとし、街路樹もさみしい姿になりますが、針葉樹の美しさが目立ちます。

札幌駅前通りや商業施設では、樹木に電飾が取り付けられイルミネーションが夜景を飾ります。大通公園ではクリスマスマーケットが開かれ、それが終わると雪まつりの準備が始まります。

札幌市の街路樹で最も多いのはナナカマドですが、鮮やかな赤色の実を付けます。実が凍結することで成分が変化するため、それまでは野鳥もあまり食べません。そのため、秋から冬にかけて赤い実が街路を彩ることになります。

◆

冬期の公園では、可動式の遊具は固定され、使用できなくなります。住宅地内の公園は、周辺の街路の排雪をする場所にもなり、広場も深い雪で覆わ

れます。そんな状況でも、公園では元気に子どもたちの遊ぶ姿を見ることが出来ます。堆積された雪やスキー山が、スキーの練習、そり遊びの場所になります。子どもの遊び、遊具や植栽への影響に配慮した排雪や春の融雪時の雪割りなどが町内会で行われます。

日照時間も短く、低温のため外で過ごす時間は短くなりますが、子どもの体力維持のために近隣の公園は重要な役割を果たしています。

雪は北国らしい景観をつくる要素です。改訂中の札幌市景観計画でも、冬季の景観を位置づけて、雪の美しさを見せることができるような場づくり、

建築物や植栽も含めた見せ方の工夫に努めることが盛り込まれる予定です。

緑化状況をあらわす指標として緑視率がありますが、私たちの研究室では季節変化と緑量感との関係について研究をすすめています。

冬の葉を落とした樹木からも人はみどりや自然を感じていることや、寒い冬でも植栽された公開空地が休憩場所として活用されていることなども分かってきました。

一見寂しくなるように感じる冬の緑化空間も、しっかりと役割を果たしており、緑視率ではなく木視率とでも言ったほうがよいだろうかと考えているところです。



第20回 全国造園フェスティバル 各地の開催概要のご紹介

フェスティバル当日の様子を一覧形式で一部をご紹介します（ご連絡いただいた開催予定を掲載しています）

開催支部	開催日	開催場所
北海道	8/2	国営滝野すずらん丘陵公園
青森県	10/25.26	ヒロロ
岩手県	10/25.26	盛岡市仙北地区活動センター
宮城県	10/19	国営みちのく杜の湖畔公園
秋田県	10/25.26	秋田市千秋公園
山形県	9/13	山形市蔵王みはらしの丘
福島県	11/3	あづま総合運動公園
茨城県	10/4	笠松運動公園
群馬県	11/29	群馬県立金山総合公園（ぐんまこどもの国）
埼玉県	11/14	埼玉県庁敷地内
千葉県	10/4	千葉県立行田公園
千葉県	10/11.12	船橋市天沼弁天池公園
千葉県	10/13	県立幕張海浜公園
千葉県	10/18	千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道
千葉県	11/16	千葉県立北総花の丘公園
東京都	6/1.2	世田谷公園

開催支部	開催日	開催場所
東京都	6/7.8	東久留米市役所
東京都	10/5	豊島区役所
東京都	10/18.19	都立木場公園
東京都	10/19	都立戸山公園
東京都	10/25	日比谷公園
東京都	10/25	豊洲ふ頭内公園
東京都	11/1.2	代々木公園
東京都	10/15.16	新宿中央公園
東京都	11/16	江東区立東陽公園
東京都	10/25	日比谷花壇大船フラワーセンター
神奈川県	10/26	県立相模原公園
神奈川県	11/23	東高根森林公園
新潟県	10/11	国営越後丘陵公園
富山県	9/27	富山駅イベントスペース
山梨県	10/18	小瀬スポーツ公園
山梨県	10/25	アイメッセ山梨

開催支部	開催日	開催場所
岐阜県	11/1	オアシスパーク
静岡県	10/18.19	アクト通り
愛知県	10/9	名城公園フラワープラザ
三重県	9/20	北勢中央公園
福井県	11/24	ハビリン（ハビテラス）
滋賀県	10/11	彦根市荒神山公園
京都府	10/4	梅小路公園
大阪府	11/2	浪花公園
兵庫県	9/27	県立明石公園
奈良県	10/19	大和郡山市総合公園
和歌山県	10/11	和歌山マリーナシティ
鳥取県	10/19	とっとり花回廊
島根県	9/14	島根県立西部高等技術校
島根県	10/26	くにびきメッセ
岡山県	10/19	倉敷みらい公園
広島県	9/20	広島市森林公園

開催支部	開催日	開催場所
広島県	10/11	国営備北丘陵公園
山口県	10/5	亀山公園ふれあい広場
山口県	10/18.19	オーヴィジョン海峡ゆめ広場
徳島県	10/4	あすたむらんど徳島
香川県	10/11	国営讃岐まんのう公園
香川県	10/19	仏生山公園
愛媛県	10/25	愛媛県立とべ動物園
高知県	10/3	高知市中央公園
福岡県	10/26	国営海の中道海浜公園
長崎県	10/4.5	長崎県庁敷地内
熊本県	10/25	水前寺江津湖公園
宮崎県	10/13	宮崎県総合文化公園
鹿児島県	10/4	センテラス天文館
沖縄県	11/9	沖縄県総合運動公園

全国造園フェスティバル キャクター名「はぐりーん」に決定



人とつながる
緑とつながる

全国造園フェスティバルのキャラクター名募集にご応募いただき、ありがとうございました。

お越しいただいた皆さまからのたくさんの素敵なお名前の中から、厳正な審査の結果、福岡県ペンネーム みどりさんの「はぐりーん」に決定しました。

「はぐ」は「はぐくむ」や英語の hug（抱きしめる、抱擁）の意味を持ち、「ぐりーん」は植物を表しています。

「はぐりーん」はこの二つを組み合わせた造語で、植物を抱きしめ、みんなで育む という意味を込めています。

また、「はぐりーん」には 葉＋green の意味も含まれており、植物たちが生き生きと緑の葉を茂らせられるよう、みんなで抱きしめるように大切に育てていこうという想いも込められています。

東京都 10/19 都立戸山公園内

新宿区の祭りと共に催。多くの協賛企業が参加し、3カ所のステージで終日イベントを実施。親子での来場者も多く、丸太切りは年少者に人気でした。



新潟県 10/11 国営越後丘陵公園

今回、初めての試みで「タネだんご作り」を実施しました。子供も大人も楽しんで作ってくれて好評でした。



富山県 9/27 富山駅イベントスペース

ケンセツジョブフェス 2025 の中で開催。親子連れが多く好評をいただき、造園業が建設業界の一分野であることを広くアピールできました。



愛知県 10/9 名城公園フラワープラザ

「秋風薫る寄せ植え教室」の名称を意識して、寄せ植えのための花苗の種類を厳選したので、参加者に大変喜ばれました。



滋賀県 10/11 荒神山公園

子ども向けのイベントで、建設機械に触れることで建設業に少しでも興味を持ってもらえたのがよかったです。



和歌山県 10/11 和歌山マリーナシティロストロート

観葉植物の苗の配布は好評で、多くの方に喜んでいただきました。また、農薬の使用方法や花の育て方に関する問い合わせも寄せられました。



鳥取県 10/19 とっとり花回廊

この会場での開催は2年目で、「樹木匠と歩く森の自然観察ガイド」を実施。秋の自然や草花に囲まれ、多くの来場者に楽しんでいただきました。



広島県 10/11 国営備北丘陵公園

球根つかみ取り体験で手に入れたチューリップの球根を使って、庭をどうレイアウトするかを楽しそうに語ってくださる姿が印象的でした。





2025年10月
リニューアル!

電子申請で業務を
もっとスムーズに!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O



電子化で、 煩雑な申請や書類管理の 手間を大幅に軽減できます。

オンラインで
業務効率化!


工事関係書類の
電子化にも対応!

発注機関等への
提出作業が軽減!

詳しい情報はこちら ▶

建退共


<https://www.kentaikyo.taisiyokukin.go.jp/>



建退共

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866



ふるさと自慢

東京23区内でありながら緑と農に囲まれた町 練馬

東京都練馬区は、東京23区では北西の端に位置し、人口75万人に達する23区第2の都市です。いろいろな経緯を経て、1949年に23番目の区として板橋区から別れて現在の東京23区となりました。

◆
練馬区には、首都高が通っていません。最寄り首都高出入り口は板橋区高島平です、JRの駅もあります。一番近いJRの駅は杉並区荻窪か豊島区目白あたりでしょうか。主たる電車と言えば西武池袋線です。

区役所がある練馬駅周辺は、最近では、大人気アニメ「チェンソーマン」の聖地となっており、時代を遡れば野球アニメ「タッチ」にも描かれています。なにより東映があることでアニメの町として知られています。

西武池袋線練馬駅から徒歩だけ



アニメ「チェンソーマン」の舞台練馬駅



アニメ「タッチ」に描かれたビルは今ももう無く

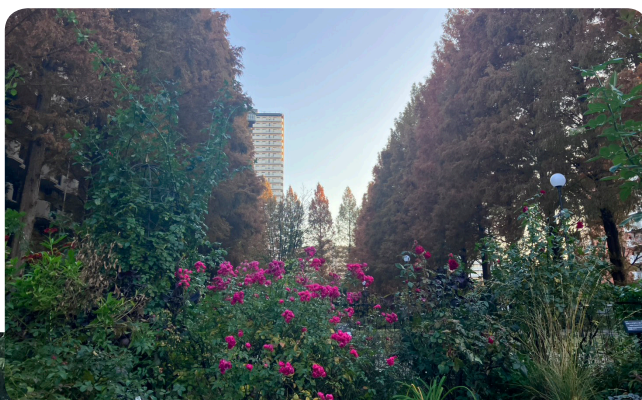


遊園地の面影残る都立練馬城址公園入口支線に乗り込むと豊島園に行くことができます。昭和の時代に賑った豊島園遊園地は既に閉園し、現在は練馬区第5の都立公園練馬城址公園と「ワナー ブラザース ス



国際色豊かな THE MAKING OF Harry Potter

タジオツアー東京 - メイキング・オブ・ハリー・ポッター」が開園しています。ハリー・ポッターの世界を楽しみに世界中の人々が訪れる新スポットとなっています。



練馬区立四季の香りローズガーデン
バラと紅葉したメタセコイアのビスタ



種子保存用の大根畑（練馬区農の学校）

業フェスティバルが開かれるなど全国の都市農業を牽引しています。

区内には100以上の直売所のほか、ワイナリーや牧場、ブルーベリーやイチゴの観光農園があります。

23区でありながら緑と農に囲まれた町「練馬」にぜひお越しください。

東京都支部 石井 匡志（アゴラ造園株）



青春五十路切符

2024年のお正月、主人の実家に帰省した際、義姉に旅行に行くならどこに行きたい？と聞かれ、「行ってみたいのは広島かな」と答えた。

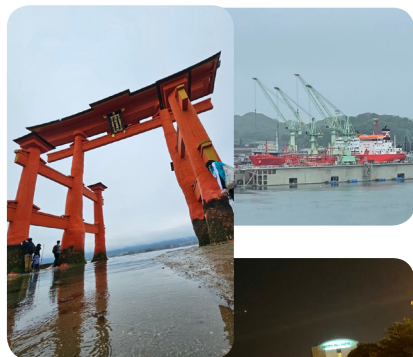
◆
するとお正月明け自宅へ戻って何日かしたら、義姉から旅行会社の見積りがLINEで送られてきた。

そのLINEのグループ名が「青春五十路切符」私・主人・義姉・義兄がメンバー。LINE内で面白おかしく日程調整、宿泊先選定、観光ルートなどを話し合い、あっという間に日程が4月に決定。当日仙台空港で待ち合わせ。

◆
正直、当日空港で義兄夫婦に会うまで、本当に今から広島へ行くのか？と実感がわかなかったが、無事合流し、飛行機で広島へ。

2泊3日でレンタカーを借り、宮島～広島市内～しまなみ海道～愛媛（ちょっと上陸）～尾道と周り、とても楽しい旅行を経験した。

◆
自分だけでは、行ってみたいと思うだけで、実現しなかったであろう旅行に、腰の重



広島宮島(上)
尾道(右上下)



福島（ハワイアンズ）(上)
青森のランプの宿 (左)

い私を誘い出してくれた義姉には本当に感謝している。

◆
そして、去年はこれで終わらず、11月に主人の実家親族と福島のスパリゾートハワイアンズへ、同じく11月に私の実家親族と青森のランプの宿へと旅行をし、どちらもわいわい楽しく過ごした。

それぞれの写真を見返しながら、思い出に浸る今日この頃。

またいつか楽しい旅ができる日を楽しみに、日々仕事を頑張りたいと思う。

29(木)・登録造園基幹技能者講習（東京）～30(金)
30(金)・中国総支部交流会

【2月】
3(火)・広報活動部会
5(木)・運営会議
6(金)・事業委員会（全国）
13(金)・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
17(火)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
19(木)・登録造園基幹技能者講習委員会
21(土)・第52回全国造園デザインコンクール表彰式
26(木)・九州総支部交流会
28(土)・技能グランプリ～3/1(日)

委員会等の活動

●広報活動部会
11/4 日造協ニュース11月号の内容確認、2026年3月までの記事構成について審議
11/28 日造協ニュース12月号・新春号の内容確認、2026年4月までの記事構成について審議
●技術委員会
12/2 UR都市機構のヒアリングに応じ、造園工事調達の制度改善にかかる意見徴収に造園業界の最近

小岩井農牧(株)
山田康子
岩手県支部



事務局の動き

【12月】
4(木)・運営会議
・2027年国際園芸博覧会特別委員会
5(金)・女性活躍推進部会テーマ別小会議（役員会議）（出前講座）
9(火)・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会（試験部会）
・近畿総支部交流会
11(木)・福島県立岩瀬農業高校出前講座
15(月)・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
17(木)・総支部長等会議
18(木)・緑地樹木剪定ハンドブック編集委員会
19(金)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
22(月)・植栽基盤診断士認定委員会

【1月】
6(火)・2026年 新年造園人の集い
15(木)・沖縄総支部交流会
・登録造園基幹技能者講習（福岡）～16(金)
21(木)・関東地方整備局道路部との意見交換会（関東・甲信支部）
24(土)・全国造園デザインコンクール予備審査
25(日)・全国造園デザインコンクール審査会

日造協 ようこそ日造協へ！ 新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
(株)みちのく庭園 橋本 忍 青森県八戸市大字河原木字簀子渡 15-3 ☎ 0178-28-0130 FAX 0178-20-1217	

街路樹剪定士の資格更新手続をオンラインで受付中

街路樹剪定士の資格更新手続をオンラインで実施しています。

対象者：今年度末（3/31）に有効期限を迎える方、有効期限が過ぎている方
※更新対象者のうち、今年度末に有効期限を迎える方と、有効期限を過ぎて3年以内の方には、9月末に案内ハガキを郵送しております。

更新方法

1. 資格者専用ページからマイページにログイン
2. オンラインでの講習を受講（カメラ・マイク等不要）

3. 更新手数料の納入（クレジットカード・コンビニ払い・ペイジー（ATM決済））
 4. 認定証に使用する顔写真の送信
- 更新手続期間：2025年10月1日～2026年1月31日

更新手数料：14,300円（税込）（インターネット環境の無い方は15,950円（税込））詳しくは日造協ホームページに掲載しています（<https://www.jalc.or.jp/sentei/sentei03.html#page03>）。



登録造園基幹技能者講習 申込受付中

現在、今後開催する登録造園基幹技能者講習の申込みを受け付け中です。

<開催場所>

福岡会場 1月15日(木)、16日(金)
東京会場 1月29日(木)、30日(金)

<申込期間>

の動向を伝え、発注予定工事や工事書類削減など受注者の負担軽減の取り組みをヒアリング

●事業委員会
11/19 造園 CPD システム変更の打ち合わせで、造園学会における受講受付等事務手続き、システム変更について検討
●造園 CPD 推進委員会
11/27 教育形態表やシステム変更について検討
●全国造園デザインコンクール等推進部会
11/27 今年度の審査会と表彰式、27年度の園芸博覧会プラン賞について審議。全国造園デザインコンクール応募要項改訂検討会（仮称）で、2028年度の改訂に向け、キックオフを行い、課題などの変更について意見交換
●植栽基盤診断士認定試験（実地試験）
11/5.6 京都会場 11/7 愛知会場 11/20.21 東京会場 11/25 福岡会場
●緑地樹木剪定ハンドブック編集委員会
11/12 改訂原稿について審議

編集後記 造園フェスティバルのテーマ刷新に伴い、誕生したキャラクターの愛称が決定しました。かわいいキャラクターとともにフェスティバルの益々の盛り上がり、業界の発展につながっていくことを期待します。

各会場開催日の2週間前まで
※詳細は日造協HPをご覧ください（<https://www.jalc.or.jp/kikanginou/kikanginou02.html#page02>）



●女性活躍推進部会
11/5 富山県立小矢部園芸高校出前講座で、「造園建設業の仕事入門」をアレンジした講義と支部長等も交えたディスカッション、支部による雪吊りの実技を実施
11/12 建設産業女性定着支援ネットワークの建設産業の未来を見据えた先進的取組を共有促進する分科会に出席
11/26 勉強会小会議で、二人三脚ワーキング、これからの考えるロールモデルの活用と中間管理職への講座について検討
●国際委員会
10/28-11/28「第1回 海外日本庭園・造園関連業務事例アンケート」として、日造協の関連企業が取り組んでいる海外での日本庭園・造園関連業務に関する事例を調査中
●2027年国際園芸博覧会日本政府出展起工式に参加